

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称		〔44〕 東京都台東区立小島社会教育館				
指定管理者の名称		株式会社山武		指定期間	H21. 4. 1 ～ H24. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
(2) 類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育館他 3 5 施設					
(3) 経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益〔単位：百万円〕		
	2 1 年	60,041	48,546	11,494		
	2 2 年	61,831	49,160	12,670		
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区小島 1-5-2 (都営小島ビル 2F)					
(2) 設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3) 利用者	社会教育団体として登録されている団体、センターが行う事業に参加する区民					
(4) 開館日・時間	火曜～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：祝日、年末年始(12/28～1/4)					
(5) 規模	ホール100人 第一会議室30人 第二会議室20人 第三会議室20人 第一和室15人 第二和室30人					
(6) 人員体制	週40時間勤務 4人		週30時間勤務 1人			
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	1、生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2、施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2) 自主事業	6 講座実施 20回 延参加人数：299人					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	13,373,000	12,834,000	13,899,000	14,456,000	14,146,000
	料金収入等	3,200,000	3,600,000	2,500,000	2,010,000	2,210,000
	管理経費	16,573,000	16,434,000	16,399,000	16,466,000	16,356,000
決算	委託料	13,373,000	12,834,000	13,770,000	14,456,000	14,146,000
	料金収入等	2,392,290	1,768,815	1,682,945	1,764,830	1,749,380
	管理経費	15,992,226	15,882,951	15,452,945	16,220,830	15,895,380
	収支	-226,936	-1,280,136	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
年間開館数		日	341	341	328	342
ラーニングスクエア講座数		講座	12	12	13	12
自主事業講座数		講座	1	2	4	6
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率		%	31.0	29.4	30.5	30.4
利用件数		件	1,800	1,728	1,724	1,793

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

- ・各スタッフのスキルアップのための接遇教育研修の充実を図った。
- ・台東区の地域文化活用として「盆踊り」や地域産業の「袋物」などを行い、新たな地域資源として「台東区むかしむかし」を教材にした講座を行った。
- ・学びの還元につながる学習プランや、人材活用を行い、多様なニーズに対応できるジャンルの拡大と受講者の世代拡大に努めた。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.2]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[3]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[3]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上） : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正） : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未達） : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	自主事業においては積極的に地域の職人を講師として魅力ある講座を実施し、講座数を2回、延回数9回増やしたことで参加者が前年度比109%増加した。新規利用者の獲得に努めており、地域住民に認知されるようになってきている。
(2) 施設の維持管理	A	施設自体は老朽化が進んでいるが、会議室の折りたたみテーブルを新しくしたり、区で行った空調設備改修やたたみの交換などで一新した施設の維持管理を適正に行い、利用者がより使用しやすいように取り組んでいる。
(3) 利用者の満足度	A	利用率は年々着実に増加してきたが、ここに来て0.1ポイントの微減となってしまった。それを踏まえて引き続き新規利用者を獲得する必要がある。
(4) 歳入歳出	A	歳出については適正に行われている。歳入は前年より若干減っているため、更なる努力が望まれる。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

他の教育館に比べると貸室が6室と多いため、利用が分散して利用率が低くなりがちだが、利用者拡大に積極的に取り組み少しずつ利用率が上がってきている。ホールの利用が若干落ちているので、更なる工夫が望まれる。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

引き続き新規利用者の獲得を図るため、自主事業に地域の力を取り入れるなど工夫を考えていく。今後は会議室に見合った利用率アップを視野に、施設運営が展開できるよう、指定管理者と協議していく。